

明るいニュース

一般社団法人
日本善行会

〒100-0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL (03) 3212-6996
FAX (03) 3212-6998
URL: http://www.zenkoukai.or.jp
メール: info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人 相澤 克也

善行は、社会を
照らすともじび。

令和三年度 秋季善行表彰 受賞者伝達式

【岩手県宮古支部】

昨年の秋季善行表彰を受賞された副支部長久保田直史氏に対してコロナの感染予防のため急遽本人の自宅にて、善行表彰を伝達いたしました。

久保田氏から喜びのおはなしをいただきました。善行メダルと表彰状を手に「コソコソと時間を清掃に取り組んできたが、まさか善行章をいただける」と同会



の主目的である「善行の輪」を広める決意を語っており、また、コロナが収束になりましたなら会員の皆さんとともに、祝賀会をしたいと考えております。

【東京都練馬支部】 令和三年度 特別・秋季善行表彰 伝達式の開催

十二月二十二日、練馬区役所区長室において、特別・秋季善行受賞者の伝達式を開催した。

まず、栗原支部長より各受賞者の善行活動の紹介があり、続いて、練馬支部の顧問でもある前川耀男練馬区長より「受賞者の皆様は練馬区の誇りです。・・」とのご祝辞をいただいた。



素化に徹した中において、会場の心温まる雰囲気の中、結びに受賞者代表から「光栄の至りです。・・」との謝辞があり、式はつつがなく終了となった。

支部だより

群馬県北毛支部

防犯パトロール 実施者講習会の 参加について

去る十一月二十六日、渋川市長の要請を受け、渋川市役所大会議室において防犯パトロール実施者講習会に参加しました。この防犯パトロール実施者講習会は、当支部長以下十三人の会員及び他団体の合計三十人によって開催されました。

初めに、市民環境部市民協働推進課の生方課長から「皆様のご協力により、市民の安全、安心が守られています。今後も何卒よろしくお願ひ申し上げます。」との挨拶の後、渋川警察署生活安全課の高野課長代理から「コロナ禍で特殊詐欺の発生が懸念されます。被害を防ぐためには、青色防犯パトロール車による防犯パトロールが非常に効果があります。」と挨拶があり、その後、その目的、パトロールの注意点などに



市民協働推進課長
挨拶の状況



渋川警察署生活安全課長代理
挨拶の状況

福島県支部

新支部設立に向け ボランティア活動

晴天に恵まれた十月十日(日)、JR白河駅前



ゴミ収集模様

ついて講義があり、参加者全員が真剣に受講しました。当支部では、既に七十人の会員が、パトロール実施者証を取得して、パトロールに従事していますが、今回の受講を受け「交通事故防止に配慮しながら犯罪を防止するためのパトロールを行いたい」と犯罪抑止への決意を新たにしました。



収集したごみと参加者

清掃ボランティア活動を実施しました。清掃ボランティアには郡山市と白河市の会員十三人が参加。約一時間実施し、四十五リットルのゴミ袋に八袋分収集しました。

その後、参加者は会場を移し、新支部設立に向けた打ち合わせを行い、小峰城公園内のベンチや芝生で昼食用に配られたおにぎり弁当をほおばり、園内の紅葉を眺めながら秋の充実した一日を満喫しました。もちろん、新型コロナウイルス感染防止対策のもと実施しました。

東京都新宿支部

第二十回善行会杯 少年サッカー大会③ 優勝決定戦

新宿支部長
前田 哲也

令和三年十一月二十七日に新宿区内のグラウンドにて二ヶ月間の戦いの最終日。この日は決勝戦と二位決定戦の二試合が二学年の勝抜いた八チームで開催されました。



小学生低学年の試合は真新しい人工芝と

静岡県浜松支部

令和二年度 春季受賞者

ポーランド市民交流
友の会
会長 影山美恵子



去る二〇二一年十月十六日に、ポーランドのシュドウルツェ市にて、初めてナイター照明の中行われ第二十回大会にも配慮された日になりました。

受賞者の 喜びの声

善行表彰を受けて

栃木県大田原市
渡邊 弘



この度は、歴史と伝統のある善行会より令和三年度秋季善行表彰を賜り、心より感謝申し上げます。三十年近く前、歌手として女優として戦後活躍され、身体機能に、知恵に障害をもつ子どもたちのための「ねむの木学園」

貴日本善行会で受賞いただき、誠にありがとうございます。女舞踊団L.U.Zの代表者シュドウルツェ市役所副市長マリユシユ・ヴォジンスキ氏に授与させていただきますので、ご報告いたします。

当日は、シュドウルツェ市副市長のマリユシユ・ヴォジンスキ氏が舞踊団を代表して授与していただくことになりました。二〇〇〇年から継続して、浜松市の子どもたちと素晴らしい国際交流を継続しています。コロナ禍が収束し、日本渡航がポーランド子どもたちに安全に実現でき、日本の子どもたちと音楽と文化を通して国際交流ができる日まで、しばし国際交流は延期されることは、非常に残念です。

という施設を創設した宮城まり子さんと出会い、「ダメな子なんか一人もない」という子どもの観方と「生きていくお手伝い」という教育の考え方に共感し、これをぜひ歴史に残しておかなければならないという思いから研究を進め、その集大成として今年二月にねむの木学園の先生方・子どもたちの協力を得ながら、『宮城まり子とねむの木学園』(潮出版社)を刊行することができました。お読みいただいた多くの皆様から心温まる読後の感想をいただきました。現在ねむの木学園の理事を務めておりますが、引き続き同学園を支援していければと考えています。

2面へつづく

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。